

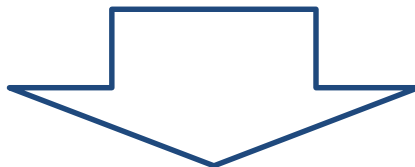
# 登別市地域公共交通活性化協議会 設立の経緯



# 1 登別市の公共交通を取り巻く環境

## 現状と課題

- ・人口減少、高齢化の進展
- ・自動車に依存する生活環境
- ・外国人観光客への対応
- ・運転免許証自主返納者の増加
- ・バス・タクシー運転手のなり手不足
- ・公共交通空白地域への対応 など



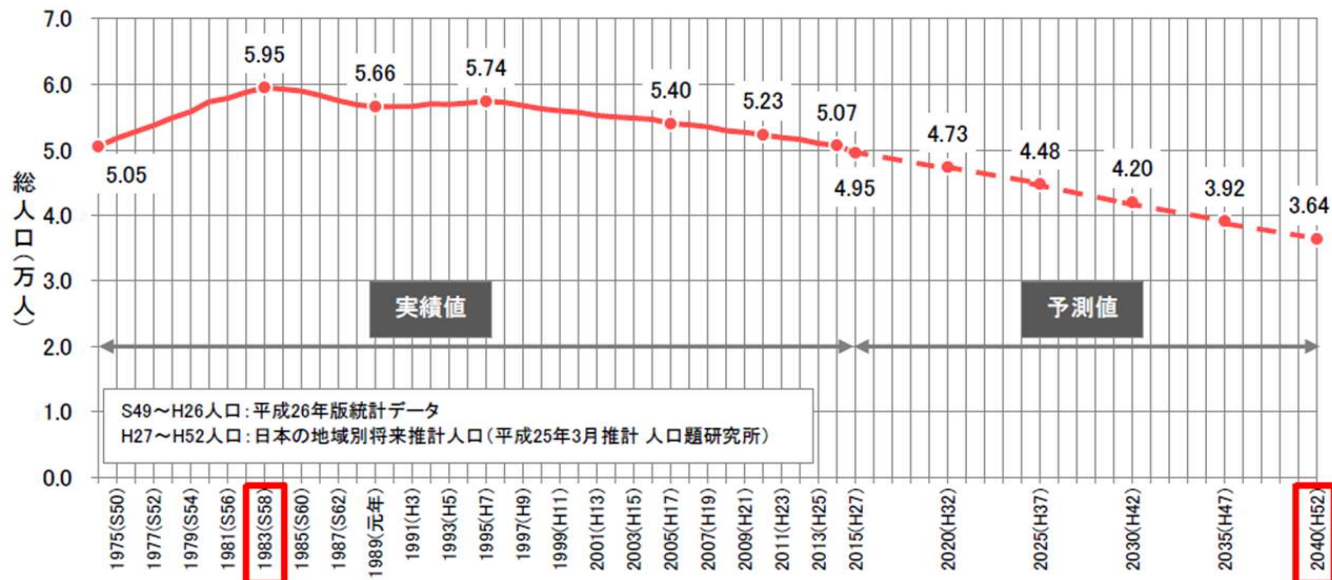
課題の解決に向けた  
協議が必要

登別市の公共交通を取り巻く環境の変化を踏まえ、将来を見据えた公共交通のあり方を協議する会議体が必要となった。

## 【参考】登別市の人口推移について

1983(S58)年をピークに年々減少しており、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040(R22)年には36,411人とピーク時の約6割まで人口が減少するとされている。 ※2019(R1)年12月末時点の人口47,608人

登別市の総人口の推移と将来人口



平成27年10月策定 「登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」より

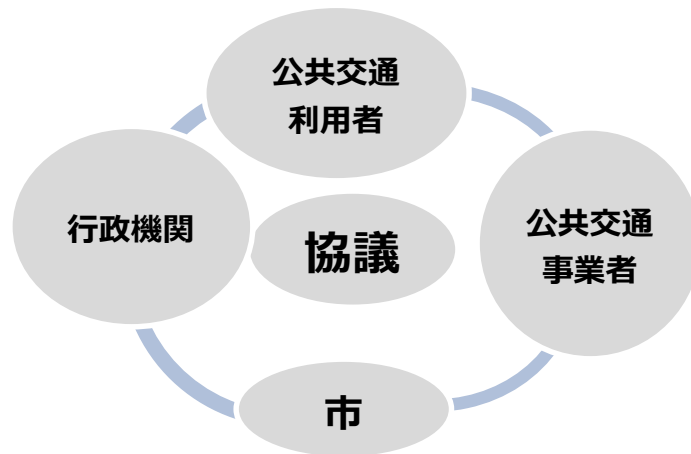


## 2 今後の対応

- 1 『登別市地域公共交通活性化協議会』を設置し、『公共交通利用者』、『公共交通事業者』、『行政機関』、『市』が一体となって、課題解消に向けた協議を行う。
- 2 持続可能な公共交通のあり方を示す「計画」の策定を目指す。

※胆振管内の4市7町のうち、登別市以外は既に公共交通に関する計画を策定済

登別市地域公共交通活性化  
協議会のイメージ



### 3 策定する計画の位置付け

『策定する計画』は登別市の公共交通に関するマスタープランとして、上位計画となる「登別市総合計画」や「登別市都市計画マスタープラン」等の各種計画と整合性を確保するほか、「室蘭都市圏交通マスタープラン」とも連携する。

